

DAL Business Report

2022年4月1日～2023年3月31日

データと一緒に
ワクワクする未来へ！

DAL

Data Applications Company, Limited

証券コード：3848

トップメッセージ

DX実現への挑戦を続け、更なる企業成長を実現します。

皆様には平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。

前期は、製品のサブスクリプションでの提供において、大型案件の受注を含め、売上が順調に推移したことを主要因として売上高が計画値を上回りました。

一方、後述いたしますオフィス移転の決定に伴う特別損失の計上に伴い、当期純利益は計画値を下回る結果となりました。

中期経営計画の最終年にあたる当期は、当社がデータ・インテグレーション市場（データ連携市場）と定義している領域において、製品の戦略的な展開を図るとともに、新規事業の具体化を加速させることで、「DX実現への挑戦」を続けてまいります。また、製品のサブスクリプションでの提供を中心に、リカーリングビジネスの展開を更に促進し、既存市場における「収益の最大化」を目指します。

そして、企業成長の上では欠かせない「人材の獲得と育成」に向けて、積極的な情報発信による採用力の強化や従業員の教育訓練体制の強化に努めます。更に「企業力強化の取り組み」のひとつとして、新たな業務提携・資本提携・M&Aなども進めてまいります。

それら取り組みの具体策として、昨今の当社の勤務実態に鑑み、コストの最適化を企図して、オフィスの移転を決定しました。移転計画に関しては、環境対策や従業員のウェルビーイングなど、企業として取り組むべきESGやSDGsの視点を踏まえて検討を進めております。一時的に費用は発生しますが、中長期的にはコストの削減にも繋がり、魅力的なオフィスはより優秀な人材の確保にも寄与するものと期待しております。

中期経営計画の達成はもちろんですが、その先に更なる大きな目標を掲げ、皆様のお力添えも頂戴しながら企業成長を実現させたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

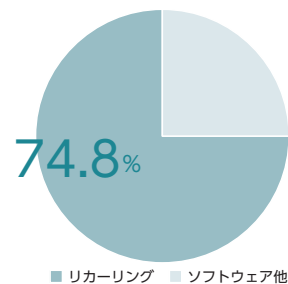


代表取締役社長執行役員

安原 武志

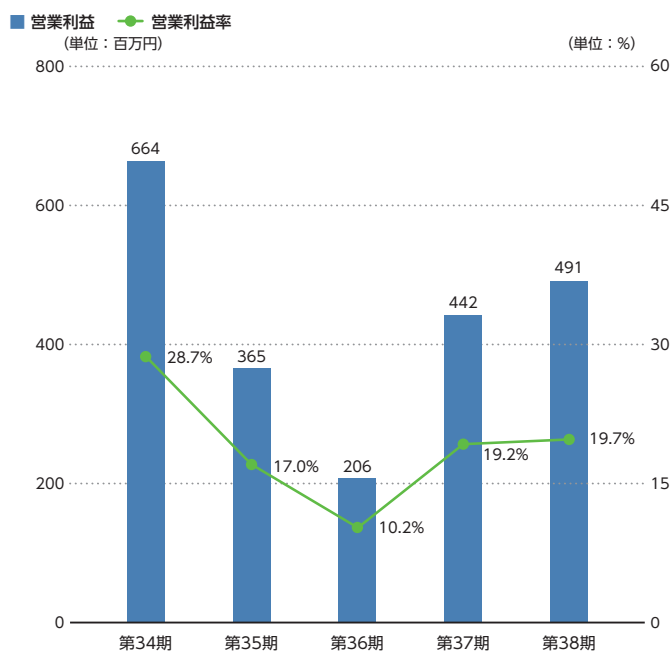
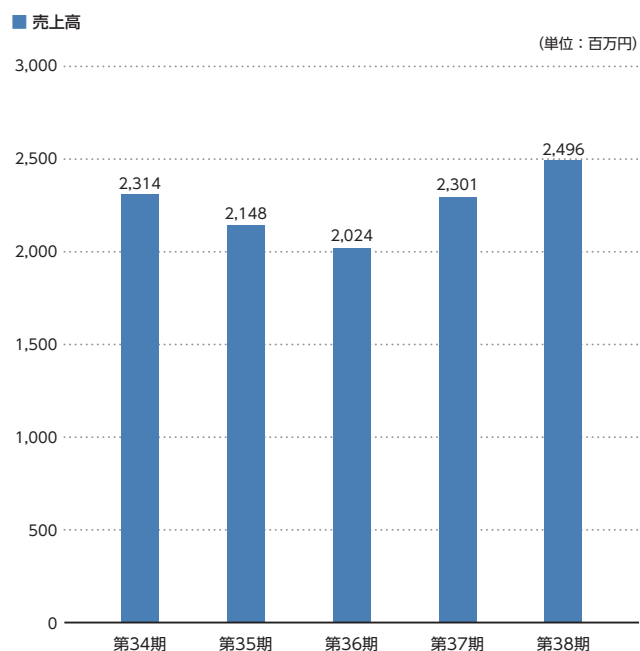
業績ハイライト

総売上高に対する
リカーリング売上の比率



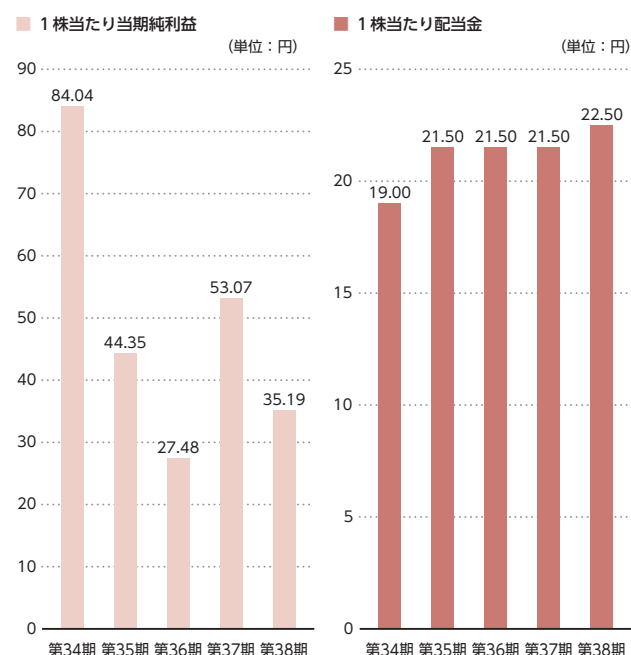
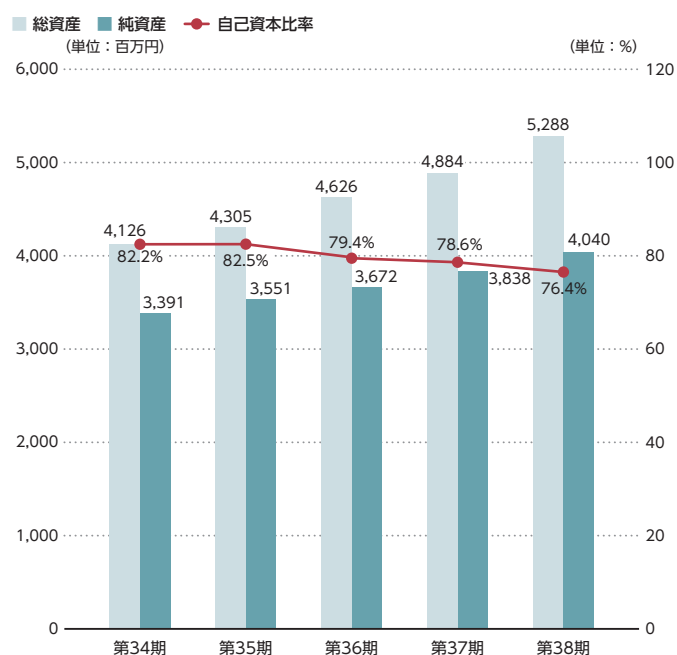
■ 売上高：サブスクリプション売上の伸長に伴う増収

■ 利益：売上高伸長に連動し、営業利益・経常利益が増益
当期純利益は、本社移転に伴う特別損失の計上により減益



ポイント
解説 第 38 期の売上高は 2,496 百万円
サブスクリプション売上伸長・EDI 需要も堅調

ポイント
解説 第 38 期は売上高伸長に伴い、営業利益も好調



ポイント
解説 高い自己資本比率を維持
盤石な財務健全性

ポイント
解説 第 38 期の 1 株当たり年間配当金は 22.50 円となり、株式
分割を実施しているため、前期比 1.00 円の増配

サステナビリティ基本方針および重要課題（マテリアリティ）を特定 ～持続可能な社会の実現に向けて貢献し、「データと一緒にワクワクする未来へ！」を実現～

持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指し、サステナビリティ基本方針の策定および優先的に取り組むべき課題として、環境・社会・ガバナンスの観点から8つの重要課題（マテリアリティ）を特定しました。また、ステークホルダーの皆様から信頼の得られる事業活動を行い、私たちに課せられた社会的責任を果たすために、サステナビリティに関する取り組みを進めております。これにより、目指す姿である『データと一緒にワクワクする未来へ！』を促進し、企業としての持続的成長を図ってまいります。本活動は、新たに設置したSDGs推進委員会にて、行動計画を策定、進捗を管理してまいります。

1. 基本方針

当社は「未来情報社会創造はひとりひとりの喜びから」を企業理念とし、社会インフラを支えるソフトウェアの提供によって社会の利便性・生産性向上に寄与することを目的に事業活動を行っています。データ・アプリケーションは、社員ひとりひとりが、お客様や社会の課題に向き合い、以下を重要課題として取り組むことで、持続可能な社会の実現に向けて貢献し、「データと一緒にワクワクする未来へ！」を実現してまいります。

2. 8つの重要課題（マテリアリティ）の特定

ESG	no.	重要課題	関連するSDGsのゴール
E	1	サービスを通じた環境負荷の軽減	
	2	社会課題解決に向けた新分野での技術革新	 
S	3	DE&Iの推進	
	4	社員の能力開発と育成	
	5	多様な働き方の推進	
	6	地域の雇用創出	
	7	サプライチェーンの人権尊重	 
G	8	持続可能な事業基盤づくり	

2023年3月期（2022年4月～2023年3月） Topics

<製品リリース>

- ・2022/10/31 エンタープライズWeb-EDIシステム基盤「ACMS WebFramer V1.10.0」とそのオプションを発売
- ・2023/1/19 データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON V2.5」発売
- ・2023/3/31 エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex V1.7」発売

<事例公開>

エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」
 ・株式会社セゾン情報システムズ様
 ・ユアサ商事株式会社様
 データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」
 ・株式会社シナジー様

エンタープライズWeb-EDIシステム基盤「ACMS WebFramer」
 ・株式会社オオゼキ様

詳細はこちらからご覧ください。



<主なメディア掲載>

- ・「日本経済新聞」11面に、売上高300億円以下の中堅上場企業「NEXT Company」を対象とした、3年平均の売上高に占める研究開発費比率の6位として掲載
- ・代表取締役社長安原武志がラジオNIKKEI「企業トップが語る！威風堂々」にゲスト出演

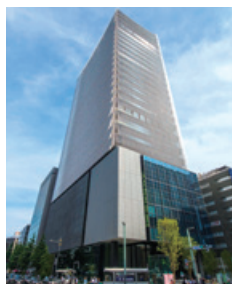
<その他>

- ・株主優待制度導入
- ・新卒の年俸の引き上げおよび従業員の基本給引き上げ（ベア）実施
- ・日本郵政株式会社が発行する「グリーンボンド」へ投資
- ・独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」へ投資

会社概要

会社概要 (2023年4月1日現在)

社 名 株式会社データ・アプリケーション
設 立 1982年9月27日
代 表 者 代表取締役社長執行役員 安原 武志
資 本 金 430,895千円
従業員数 131名
所 在 地 本社 東京都中央区京橋1-7-2
鹿児島オフィス 鹿児島県鹿児島市
山之口町12-14
TEL : 03-6370-0909 (代表)
FAX : 03-3567-1151
<https://www.dal.co.jp/>



役 員 (2023年6月20日現在)

代表取締役社長執行役員	安 原 武 志
取締役執行役員	金 子 貴 昭
取締役執行役員	岩 下 誠
社外取締役(常勤監査等委員)	板 野 泰 之
社外取締役(監査等委員)	浅 野 昌 孝
社外取締役(監査等委員)	本 村 健

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 14,400,000株
発行済株式の総数 7,414,000株
単元株式数 100株
株主数 1,356名
大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
橋 本 慶 太	840,000	13.55
株式会社UH Partners 2	568,200	9.16
光 通 信 株 式 会 社	452,800	7.30
株式会社UH Partners 3	448,400	7.23
武 田 好 修	444,970	7.18
中 野 直 樹	387,000	6.24
津 賀 暢	228,400	3.68
ジスクシステム株式会社	178,000	2.87
須 藤 敏 夫	148,000	2.38
株 式 会 社 エ ス ア イ エ ル	143,600	2.31

(注) 1. 当社は自己株式を1,216,058株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
期 末 配 当 基 準 日 毎年3月31日
中 間 配 当 基 準 日 毎年9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
基 準 日 毎年3月31日
公 告 方 法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.dal.co.jp/>

株主名簿管理人特別
口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電 話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

DAL
<https://www.dal.co.jp/>



エンタープライズ・データ連携基盤
ACMS Apex



データ ハンドリング プラットフォーム
RACoon



投資家向けIR情報は
こちらをご覧ください。

